数理解析研究所講究録1268

代数系のアルゴリズムと計算論

京都大学数理解析研究所

2002年6月

まえがき

計算機科学との関わりの中で、代数系のアルゴリズムの重要性が認識され、国内外で関連した研究が活発になっている。代数系の一般的構造論のみならず、具体的計算アルゴリズムを念頭においた研究が盛んである。２００１年２月２０日～２２日に京都大学数理解析研究所で行われた今回の研究集会では、代数、言語理論、暗号理論、計算理論に複合的に関連した広い分野の研究者が集まり、代数系のアルゴリズムの理論的側面と応用的側面からの研究発表が行われた。特に、代数系の組合せ手法による構造論、暗号理論・情報セキュリティへの応用、言語理論・オートマトン理論との関わり、ＮＰ問題を含む、計算の論理構造の問題について取り上げられ、活発な討論が行われた。

この報告集には、期間中発表された２４件の講演から、２２件の報告を収録している。今後のこの分野の研究の発展の一助になれば幸いである。

This volume, the proceedings of Algorithms in Algebraic Systems and Computation Theory, contains 21 articles which were presented in the meeting held from February 20 to 22, 2002 in Kyoto. They discuss subjects widely related to algebraic algorithms, such as cryptography, combinatorial techniques in algebra, formal languages, automata, and logic related to computation.

２００２年５月 (May, 2002)

小林ゆう治 (Yuji Kobayashi)
東邦大学理学部 (Toho University)

代数系のアルゴリズムと計算論
Algorithms in Algebraic Systems and Computation Theory
研究集会報告集

２００２年２月２０日～２月２２日

研究代表者　小林　ゆう治(Yuji Kobayashi)

目　次